

2023 SL 特別戦 YAMAHA SS FINAL CUP

フェスティカサーキット瑞浪特別規則書



本競技会は、一般社団法人『日本自動車連盟』（以下「J A F」という）の公認のもとに国際自動車連盟（F I A）のF I A国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則、および、その付則に準拠したJ A F国内カート競技規則／J A F国内カート競技規則およびその付則、2023年（以下「当該年」という）S Lカートミーティング競技規則および2023年 フェスティカサーキット瑞浪特別規則書および公式通知に従って開催されます。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 競技会の名称

2023 SL 特別戦 YAMAHA SS FINAL CUP

第2条 競技種目

第1種競技車両によるスプリントレース

第3条 本競技会のクラス区分と格式

- ・クローズド格式：YAMAHA Cadets OPEN
- ・クローズド格式：TIA ジュニア
- ・クローズド格式：SSジュニア
- ・クローズド格式：YAMAHA SS
- ・クローズド格式：YAMAHA Super SS

第4条 開催日程

2023年 12月10日（日曜日）

注1、タイムスケジュール、追加事項は確定次第、公式通知でご案内いたします。

注2、参加台数によっては、不成立になるクラスもあります。

※諸事情により急遽予定が変更になる場合には、HP上にてご案内いたします。

以下記載なき事項は、2023 SL別規則書、HPのインフォメーション等をご確認ください。

第5条 開催場所と大会事務局

フェスティカサーキット瑞浪 【全長1,177m、最大直線長145m】
〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町足股 1064-118
TEL:0572-63-3178 FAX:0572-63-3179
E-mail mizunami.staff@gmail.com

第6条 オーガナイザーの名称と所在地

主催 株式会社 フェスティカ
〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町 1275-1
TEL:0282-25-1500 FAX:0282-25-1512

共催 株式会社 栄光 ※イベントプロモーター
〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口 1-1709
TEL:052-803-7055 FAX:052-803-7085
mail@eikoms.com



第7条 競技会組織委員会および審査委員会

大会公式通知にてご案内いたします。

第8条 競技会競技役員

大会公式通知にてご案内いたします。

第9条 公式通知に関する事項

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や、参加者に対する告知等、本規則発表後に生じた必要事項は、公式通知またはインフォメーション、アナウンスにて、迅速にご案内いたします。

第10条 大会の延期、中止または取り止め、および変更に関する事項

「JAF国内競技規則、カート競技会組織に関する規定」に基づき、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期、中止または取り止めることができます。大会の全部を中止、あるいは24時間以上延期する場合は、参加料は全額返還されます。

ただし、保険料は返還されません。なお、エントラントおよびドライバーは、これによって生じる損失について、主催者に抗議する権利を保有しません。さらに、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとします。

第11条 競技会参加に関する事項

- 1) 受付期間 【基本；レース開催日1ヶ月前から期限まで】
- 2) 締切日を過ぎてからのレースエントリーは、期間外エントリーとして事務手数料3,000円をいただきます。ご了承ください。
- 3) Webエントリー専用ページから、お申し込みください！

フェスティカサーキット瑞浪のホームページのトップメニューに、“WEBエントリー”というメニューがありますので、こちらからエントリー要項の入力をお願いします。

参加要項を確認し、必要事項すべてを必ず入力のうえ、本エントリー料金をレース前に必ず決済してください。また、レース当日のご精算は出来ません。会員の方は、ナンバーを必ず記入してください。会員期限が切れていると入力できません。

- 【決済方法】
- 1、クレジットカード決済
 - 2、コンビニ決済

- ※1か2のご希望の決済方法が選択できます。
- ※必ず確定した合計金額をご確認し決済してください。
- (2重支払いにご注意ください) 決済が完了し、本エントリー終了になります。

Webエントリー以外の方へ！

Webエントリー以外で申し込みする場合、エントリー用紙を事前にFAXをお願いします。

通常のエントリー料金の他に、エントリー期間内問わず事務手数料1,000円をいただきます。この場合のエントリー代金のご精算は、『現金のみ』とさせていただきます。

【申込時の注意事項】

- 注1) 決済にかかる手数料がある場合、費用は参加者の方でご負担をお願いいたします。
- 注2) 本エントリーページ内にある、参加誓約書をプリントアウトし、ドライバーが20未満の場合、親権者または保護者、ピットクルーの署名をし、レース参加受付時に必ず持参ください。
- 注3) 記載の決済方法以外は受け付けておりませんのでご了承ください。
- 注4) エントリー完了後のキャンセルに対しては、瑞浪サーキット限定の1日走行無料券を2枚にて返金させていただきます。
- 注5) エントリー完了後、締め切り1週間を過ぎ、かつ前日までのキャンセルに対しては、瑞浪サーキット限定の1日走行無料券1枚にて返金させていただきます。

参加受付に関するお問い合わせ

【大会事務局】 フェスティカサーキット瑞浪 担当 松堂
〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町足股 1064-118
TEL : 0572-63-3178 FAX : 0572-63-3179
E-mail : mizunamistaff@gmail.com

第12条 参加定員

- 1) YAHAMA Cadets OPEN クラスは、34台でエントリーを締め切ります。
- 2) TIAジュニアクラスは、34台でエントリーを締め切ります。
- 3) SSジュニアクラスは、34台でエントリーを締め切ります。
- 4) YAMAHA SS クラスは、最大51台とします。
- 5) YAMAHA Super SS クラスは、最大51台とします。

注1) 各クラス、予選、決勝のフルグリッド台数は34台とします。

注2) 参加台数が3台未満(2台)の場合、当該クラスを不成立とする場合があります。

注3) その他の処置または対応に関しては、公式通知に示されます。

第13条 参加資格

1) ドライバー資格

【YAHAMA Cadets OPEN】

当該年度年齢 小学1年生～ 本年度に有効なSLライセンスカードの所持者で、SLカデット以上 ※主催者が認めたコースライセンスの場合あり

【TIAジュニア】

当該年度年齢 小学4年生～ 本年度に有効なSLライセンスカードの所持者で、SLカデット以上 ※主催者が認めたコースライセンスの場合あり

【SSジュニア】

当該年度年齢 小学4年生～ 本年度に有効なSLライセンスカードの所持者で、SLカデット以上 ※主催者が認めたコースライセンスの場合あり

【YAMAHA SS】

当該年度年齢 小学6年生～ SL-B以上 本年度に有効なSLライセンスカードの所持者で、SLカデット以上 ※主催者が認めたコースライセンスの場合あり

【YAMAHA Super SS】

当該年度年齢 30歳以上～ SL-B以上 本年度に有効なSLライセンスカードの所持者で、SLカデット以上 ※主催者が認めたコースライセンスの場合あり

2) ピットクルー登録

全クラス16歳以上とし、ドライバー1名につき2名まで登録可能とします。

第14条 参加料

- 1) エントリーフィーにはピットクルー1名分の登録料が含まれ、各クラス次の通りとします。【表示価格は税込みです】

エントリーフィー

【 YAHAMA Cadets OPEN 、 T I Aジュニア、SSジュニア 】

フェスティカ会員でマイボンダーの方	17,000円
フェスティカ会員でレンタルボンダーの方	18,000円
非会員でマイボンダーの方	19,000円
非会員でレンタルボンダーの方	20,000円
追加ピットクルー登録料 : 1名様分	1,000円

エントリーフィー

【 YAMAHA SS 、 YAMAHA Super SS 】

フェスティカ会員でマイボンダーの方	25,000円
フェスティカ会員でレンタルボンダーの方	26,000円
非会員でマイボンダーの方	27,000円
非会員でレンタルボンダーの方	28,000円
追加ピットクルー登録料 : 1名様分	1,000円

第15条 参加受理と参加拒否、誓約書への署名

- 1) 参加者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知されます。
- 2) 参加を受理後、参加を取り消す申込者に対しての参加料は返金されません。
- 3) エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければなりません。

第2章 競技に関する事項

第16条 参加車両

2023年 J A F国内カート競技車両規定および、2023年 SLカートミーティング車両規則規定、および2023年 本大会特別規則の車両規定に従って開催されます。

第17条 自動計測装置「トランスボンダー」

- 1) 参加ドライバーは、オーガナイザーより貸し出された自動計測装置（トランスボンダー）を使用することとします。
トランスボンダーは競技終了後すみやかに返却してください。万が一破損、紛失した場合、1個につき55,000円（税込）をオーガナイザーまたは、計測器所有者へ支払っていただきます。
※高価な計測装置につき、ご理解いただきますようお願いいたします
- 2) 貸し出した自動計測器（トランスボンダー）に計測不良がおきた場合、レース中の交換可能な時間を判断し別な自動計測器（トランスボンダー）に交換します。
その場合もゼッケン番号に変更はありません。
- 3) 自動計測器（トランスボンダー）の配布は選手受付時におこないます。
また、貸出した自動計測器（トランスボンダー）のは、決勝ヒート終了後にパルクフェルメで回収します。 ※マイホルダーの方は機器のみ返却してください
- 4) 参加者は、主催者が用意する自動計測装置（トランスボンダー）の代わりに、自身で所有するMYLAPS製TranX160・TranX260・TranX PRO・FLEX（通称マイボンダー）を使用することができます。また、使用する際は以下の項目を厳守してください。
 - (1) 使用申請については、申し込み時、確実に記入してください。
 - (2) マイボンダーは所有者以外での使用はできません。他人との共用も認められません。

(3) マイボンダーが正常に作動していないと、計時長（委員長）が判断し競技役員により指示された場合は、直ちに主催者の用意する自動計測装置（トランスポンダー）に交換することがあります。

(4) マイボンダーを使用する際は、充電、製品管理は自己責任となり、それに伴う計測トラブルに関しては全て参加者の責任となります。
計測不良によってタイム計測が出来なかった場合、リザルトにタイムは表示されずタイムトライアルの時はノータイムとなります。

(5) トランスポンダーの付け忘れに関しましては、如何なる場合も「必備部品違反」とし、ノータイムとします。
また、トランスポンダー取り付け位置は、原則としてカート座席（シート）の後部、またはシートステー（ブレーキ側）に取り付けるものとし、地面との距離は約30cmの高さに設置するよう留意してください。

第18条 車載カメラについて

レース時に車載カメラを搭載希望の場合、公式車検時に「車載カメラ取付申請書」を提出して下さい。

車載カメラを取り付ける場合、撮影した画像はあくまでも個人が楽しむものであると同時に、主催者側から車載カメラ映像を競技判定資料として、提出していただく場合があります。この場合大会審査委員会側が画像を確認できた場合のみ撮影画像を判定資料とします。

【取り付け注意事項】

カメラ本体は、ボルト、ナット（推奨 M5mm 以上）等でしっかり固定しゼッケンナンバースペースを隠さず、安易に脱落しないように強固に固定をお願いします。
競技中の脱落があった場合ペナルティの対象となります。

また、特殊な小さいカメラを取り付ける場合、事前に大会審査委員会までご確認をお願いします。不備があった場合取り外しをお願いする場合があります。

『車載カメラ規定』

- 1) 車載カメラ装着申請書を車検に提出せず競技に参加した場合、当該ヒート失格
公式車検後に申請用紙を提出する場合は、出走開始の20分前までに車検へ提出してください。
- 2) 車載カメラ装着申請書を提出後に取り外す場合、もしくは使用しない場合は、必ず車検長に申し出て申請を取り下げてください。処理せず競技に参加した場合、当該ヒート失格となります。出走開始の20分前までに処理してください。
- 3) 競技中、取り付けの不具合により車載カメラが脱落した場合、当該ヒート失格
- 4) 指定外箇所へ車載カメラを装着した場合、審議または警告
- 5) 事故等によって、車載カメラが脱落した場合、審議対象

第19条 競技番号の指定（ゼッケンは選手各自でご準備ください）

カート車両の前後およびサイドボックス両側に取り付けることとします。

注）ゼッケン寸法：ベースサイズ 縦17cm以上、数字 縦15cm以上
既製品や自己作成可としますが、競技委員が数字の判別が難しいと判断した場合、ゼッケンナンバーの交換をお願いする場合があります。

- 1) 各クラス：黄色ベースに黒文字とし、数字の形に制限はありませんが見やすいものとしします。
- 2) **YAMAHA Super SSのみ：リアゼッケンを赤色ベースに白文字とします。**
数字の形に制限はありませんが見やすいものとしします。
- 3) 各クラスとも、指定範囲の中から希望のゼッケンを選択できます。
ただし、希望番号が重複した場合は先着順とします。
前年付けていたゼッケンナンバーを使用したい場合、主催者に確認してください
- 4) 各クラスに欠員が出た場合、一度決めたゼッケンを変更する場合があります。
また欠員のいる場合のレースでは連番とならないことがあります。
- 5) 各クラスのゼッケンは、0番から99番の範囲といたします。

第20条 プリーフィング【ドライバーズミーティング】

参加ドライバーおよびエントラントは、必ずドライバープリーフィングに参加しなくてはなりません。プリーフィングに参加しない場合は、ペナルティの対象となります。

※エントラントミーティングを実施することがあります

※交通事情等によってプリーフィング開始時間に到着出来なかった場合は、事前に連絡があった場合に限り、大会事務局に遅延理由書を提出し競技参加が認められる場合があります。ただしタイムトライアル出走前までとなり、大会審査委員会の許可が必要となります。

第21条 ダミーグリッド関連

参加ドライバーはタイムスケジュールに準じ、指定のダミーグリッドにて出走準備をしないとはけません。ダミーグリッドに整列した後は、メカニック作業は禁止され、部品の交換、給油、ケミカル用品の使用等も禁止されます。

これに違反した場合、出走を取り消されその競技に参加することは出来ません。

ただし、タイヤの空気圧を調整するためエアゲージを使用することは認められます。

ここでいうエアゲージとは空気圧を計る機能のものです。※送エア機能不可
またメカニック単独による軽作業違反の場合、ペナルティカタログに準じメカニックにペナルティが入る場合があります。この場合ドライバーにペナルティはつきません。

【ダミーグリッドの場所】

- 1) 公式練習、タイムトライアル、予選、プレファイナル時は、1コーナ進入口手前のパドックスペース付近に設置します
- 2) 決勝ヒート時はホームストレート上を使用します。

【ダミーグリッド注意事項】

ダミーグリッドに入った後に工具を使った作業を行う場合は、進行委員または技術委員にその旨を説明し、指定された場所のみ作業が認められます。
急激な天候変化の場合、ダミーグリッドでタイヤ交換を認める場合があります。

第22条 エンジン暖気

パドック内ではエンジンの始動チェックのみが行えます。

パドック内でのエンジンの暖気運転、から吹かしは禁止されています。

エンジンを暖気運転する場合、指定の暖気エリアにて競技委員指示の元、暖気運転やから吹かしを行えます。

エンジン暖気に関する違反はペナルティの対象となります。

注) 大会期間中エンジンに不具合が生じた場合は、車検へ申告の上、車検スタッフ及び車検長が任命したスタッフ立ち合いの元、指定された場所でのエンジンの始動確認を許可します。

(申告者が重複した場合は、始動確認許可を出さない場合があります)

第23条 レース方式

全クラス、公式練習からタイムトライアルを連続して実施。

YAHAMA Cadets OPEN クラス

複数予選ヒート(予選1、予選2)、決勝ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定します。

レース方式の詳細や、周回数等の変更がある場合は公式通知で発表します。

TIAジュニア、SSジュニア クラス

公式練習、タイムトライアルから2クラス混走になります。複数予選ヒート(予選1、予選2)、決勝ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定します。

レース方式の詳細や、周回数等の変更がある場合は公式通知で発表します。

YAMAHA SS、YAMAHA Super SS クラス

公式練習、タイムトライアルから組み分けによる走行になります。

受付の際、組み分け抽選を行います。

予選はグループ総当たり戦(A、B、C、D、E、Fグループ)、決勝ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定します。

※予選グループ総当たり戦は2クラスの混走ですが、決勝ヒートはそれぞれ行います。

レース方式の詳細や、周回数等の変更がある場合は公式通知で発表します。

第24条 公式練習

- 1) 「JAF国内カート競技規則カート競技会運営に関する規定第6章第23条」に基づき公式練習を行います。
- 2) 基本参加台数24台未満の場合は、組み分けをせず当該クラス全車が同時に公式練習を行います。タイムスケジュールの都合で、24台から30台未満でも組み分けをせず、スケジュールを組む場合もあります。
- 3) 基本参加台数24台以上は2組の組分け走行（タイムトライアルも同組）、48台以上で3組（タイムトライアルも同組）に分け公式練習を行います。タイムスケジュールの都合で、変更になる場合もあります。
- 4) **組み分けに関しては、参加受付時に抽選を行い走行する組みを決定いたします。**
正式な決定方法は公式タイムスケジュールでご案内いたします。
- 5) 各クラスの**公式練習は5分間**とします。
- 6) エントリー台数の都合で各組の台数が均等にならない場合、1組の台数が多くなります。また、その他の方法で行う場合には、公式通知にてご案内します。
- 7) スタート順は、1組から順番に行います。
- 8) すべてのドライバーは公式練習に参加しなければなりません。公式練習に参加する意思がない場合は、レース除外となります。
ただし、ピットアウトしスタートラインを通過する前に本コース上で停止した場合や、コースインの意思はあるが、車両やエンジンの不具合によって出走できない状態で公式練習が終了した場合でも、公式練習に参加したものと認められます。
- 9) 公式練習中のピットインおよびピットエリア作業は認められます。

※交通事情等によって公式予選時間に到着出来なかった場合、事前に連絡があった場合に限り大会事務局に遅延理由書を提出し競技参加が認められる場合があります。ただし、大会審査委員会の許可が必要となります。

第25条 タイムトライアル

- 1) 公式通知に記載された時間内で、タイムトライアルに参加しなければなりません。

注) 参加台数によって組分けなしか、組み分けありに分かれて行います。
※競技方式の変更やその他の方式で行う場合は、公式通知にて発表します

- 2) 組み分けの出走組を間違えて走行した場合、タイムトライアル失格とします。
- 3) タイムトライアルに参加しない場合は、ノータイムとなり予選ヒートは最後尾スタートとなります。
- 4) タイムトライアルは公式練習と連続して走行を行います。タイムトライアルの**計測時間は3分間**とし、そのベストタイムを採用します
- 5) 公式練習～タイムトライアルの流れ
【計測開始】公式練習終了と同時にメインポストへ計測中ボードが掲示されます。
【計測中】計測中ボード掲示後、コントロールラインを通過した車両から順に、計測が開始されます。
計測時間内にコントロールラインを通過した全てのタイムを計測します。
【計測終了】計測時間終了と同時に、メインポストにてチェッカーフラッグが掲示されタイムトライアル終了となります。
- 6) 計測時間内であればドライバーは各自のタイミングでコースインすることができます。時間内であれば途中で止まった場合も再トライすることができますが、ピットインした場合は再トライできません。
- 7) 計測は、コースイン後にスタートラインを通過したカートに対して、全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用します。
 - ①義務周回数は定めません。
 - ②記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用します。更に同タイムとなった場合は、サードラップタイムで決定いたします。
 - ③計測が出来なかった車両についてはノータイムとなります。複数台の車両がある場合は、ゼッケン順に配列されます。
 - ④タイムトライアルが何らかの理由により中断された場合、残り時間分のタイムトライアルを再開します。再タイムトライアルの時間は、大会審査委員会が変更する場合があります。

- ⑤タイムトライアル時の失格者が複数台の場合は、予選グリッド編成時、失格者の中でゼッケン順に配列されます。
- 8) タイムトライアル中、計測機トラブルによってラップタイムが計測できない事態がおきた時、計時による手計測のタイムまたは参加者自身のカー트에搭載されているデータロガーのタイムを採用する場合があります。
- 9) フロントフェアリングの正しい装着状態確認は、タイムトライアル後の車検で実施し、不具合がある場合は規則に準じて判断します。
- 10) その他の方法でタイムトライアル行う場合は公式通知に示されます。

第26条 予選ヒート

1) 予選ヒートの周回数（予定）

クラス	周回数
YAMAHA Cadets OPEN	規定時間にプラス2周
T I Aジュニア	
S Sジュニア	
YAMAHA SS	
YAMAHA Super SS	

2) 【 YAMAHA Cadets OPEN クラス 】

タイムトライアルの成績結果により予選ヒート1を実施します。
予選ヒート2の周回数も同様とします。

3) 【 T I Aジュニア、S Sジュニア クラス 】

タイムトライアルの成績結果により予選ヒート1を実施します。
予選ヒート2の周回数も同様とします。

※グリッド位置は両クラスが混同します

4) 予選ヒート2のグリッド順決定方法

- (1)グリッドは、予選ヒート1のベストタイム順で決定します。
- (2)グリッドの決定の優先順位

- ①ヒート完走し車検を通過しているドライバー
- ②ヒート未完走（DNF）で車検を通過しているドライバー
- ③スタート（DNS）できなかった選手
- ④ヒート失格（DQ）になったドライバー
- ⑤エンジン交換、フレーム交換によって最後尾になったドライバー

※ベストタイムが同タイムの場合は、予選ヒート1の結果順になります。
※失格者が複数いた場合は、予選ヒート1の結果順になります。

注）その他の複数回予選を導入する場合、公式通知でご案内します

5) 予選ヒート1でペナルティを受けたドライバーは、次の通り予選ヒート2のグリッド順に反映されます。

タイム加算ペナルティ、グリッドダウンペナルティを受けたドライバーに対しベストタイム順のグリッドから、一律3グリッドダウンします。

- 例 1) 予選ヒート1の成績にコリドー違反で3秒加算のペナルティを受けた場合。
- 例 2) 予選ヒート1の成績にフェアリングペナルティで5秒加算のペナルティを受けた場合。



ヒート2のグリッド順は、違反内容にかかわらず3ポジションダウンした位置になります。

6) 【 YAMAHA SS クラス 】と【 YAMAHA Super SS クラス 】

タイムトライアルの成績結果によりAからFグループに振り分けたグループ総当たり戦で行います。

AからFのグループ編成方法は7)とします。

詳細は公式通知とタイムスケジュールで発表いたします。

（変更の場合は公式通知で追加発表します）

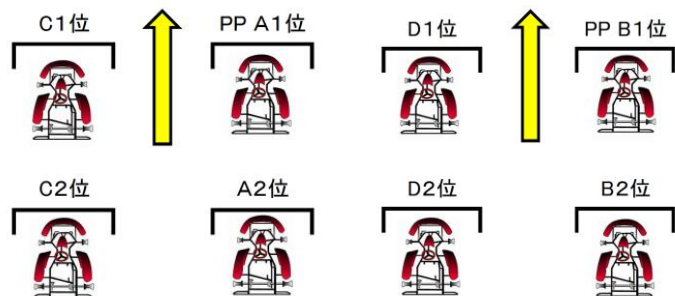
予選ヒートのグリッド決定順は、タイムトライアルの成績結果により1位は最速タイムを出した組(1組と呼ぶ)の最速タイム(総合最速タイム)とし、2位は他方の組(2組と呼ぶ)の最速タイム、3位は1組の2番目の最速タイム、4位は2組の2番目の最速タイムとし、以下同様に決定します。

1組と2組のタイム差が**10.1%を超えない場合**でも、グリッド決定の方法は変わりません。

7) グループの割り振り

TT成績	1組	TT成績	2組
1位	31.242 ⇒ A	1位	31.245 ⇒ B
2位	31.245 ⇒ C	2位	31.248 ⇒ D
3位	31.250 ⇒ E	3位	31.253 ⇒ F

【各グループのグリッド例】



注) 6グループ総当たり戦予選ヒートのスタート順

- ①B x D ⇒ ②C x F ⇒ ③A x E ⇒ ④B x C ⇒ ⑤D x E ⇒
 ⑥A x F ⇒ ⑦C x E ⇒ ⑧B x F ⇒ ⑨A x D ⇒ ⑩B x E ⇒
 ⑪D x F ⇒ ⑫A x C ⇒ ⑬E x F ⇒ ⑭C x D ⇒ ⑮A x B

第27条 予選ヒートポイント

各ヒートポイントは、表の数字で集計をおこないます。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	0	13	13	25	25
2	2	14	14	26	26
3	3	15	15	27	27
4	4	16	16	28	28
5	5	17	17	29	29
6	6	18	18	30	30
7	7	19	19	31	31
8	8	20	20	32	32
9	9	21	21	33	33
10	10	22	22	34	34
11	11	23	23		
12	12	24	24		

※1位の場合は0ポイントです。0点に近い数字の選手から成績上位になります。

- 1) ペナルティ行為があって順位が降格した場合、降格した順位のポイントを付保します。
- 2) 当該ヒートDNFのドライバーは周回数通りの着順とし、その順位通りのポイントとします。
- 3) 当該ヒートDNSのドライバーは、ヒートグリッド台数に+1ポイントが加算されます。
- 4) ヒート失格の場合、ヒートグリッド台数に+5ポイントが加算されます。
- 5) 各ヒートポイントのグリッド台数基準

総当たりグループ戦の場合⇒ 最も台数の多いヒートのグリッド台数

第28条 決勝ヒート

1) 【すべてのクラス】

決勝ヒートのグリッドは、すべての予選ヒートポイントントを合算し、少ないポイント順に決勝ヒートのグリッドを決定します。

2) すべての予選ヒートポイントが同ポイントの場合、タイムトライアル結果の成績順位を元にグリッド順を決定します。

3) 34台を超えているクラスは、プレファイナル終了後、総合の獲得ポイントを集計しポイントの少ない順に並べ、34台目からは決勝ヒートに参加できません。

4) 決勝ヒートに参加出来ない選手がいる場合、その時点でレース終了となりますが、その選手が獲得したグリッドは空席となってローリング隊列が形成進行されます。ただし、スタート前にリタイヤ届が出ている場合、その空いたグリッドを詰めて再度グリッド編成をする場合があります。

5) タイムスケジュールが大幅に遅れた場合は、ダミーグリッドからのスタートになる場合があります

6) 決勝ヒートの周回数（予定）

クラス	周回数
YAMAHA Cadets OPEN	規定時間にプラス2周
T I Aジュニア	
S Sジュニア	
YAMAHA SS	
YAMAHA Super SS	

7) 各クラスの暫定優勝ドライバーは、ウイニングランをおこなう場合があります。

8) 決勝で同着の場合は、その順位を各対象者に与えます。

例；2着が2名いた場合 ⇒ 1位、2位、2位、4位…

第3章 ペナルティ[罰則]に関する事項

第29条 ペナルティ

1) 2023年 競技規則に基づく危険・反則行為に対しペナルティを課します。

ペナルティの判断は競技長や審査委員長（大会審査委員会含む）によって国内格式競技罰則やフェスティカサーキットグループの罰則（ペナルティカタログ）等の資料に基づき決定されるものとします。

2) ドライバーサインを怠ったドライバーやドライバーマナーを厳守していないドライバーに対し注意、警告とする場合があります。

3) 競技会中の反則行為について、ドライバーを停止させることなくペナルティを課す場合があります。

第30条 その他一般事項

1) 変更事項が生じた場合は公式通知にて通知します。

2) 技術委員に承認されたデータロガー（データ蓄積装置）およびタコメーターの使用は可能とします。

ただし、データロガー用のトランスミッター（発信機）の設置場所はコース外としオーガナイザーによって承認された場所のみとします。

3) オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の一部あるいは全部を延期、中止する事ができます。なおエントラント、ドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を有しません。

さらに、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限もあわせて保有するものとします。これに対する抗議は認められません。

4) パドック、ピット、ピットエリア内での火気の使用は禁止されます。

※施設の告知や注意事項を守ってください。また、ゴミの不法投棄をした場合は施設内に投棄したすべてのゴミを必ず後日でも処理していただきます。

5) 指定された場所以外での喫煙は禁止されます。

- 6) 使用するピット・パドックは主催者側で指定させていただきます。
- 7) 競技中の電光板表示（タイム・順位）およびレースアナウンスは、サービスとして行っているものであり、競技成績の暫定や正式との食い違いがあったとしても、審査委員会と計時による競技最終結果〔リザルト〕が優先されます。

第31条 審判員〔競技オフィシャル〕

- 1) 「JAF国内競技規則」10-20に基づく審判員の判定は、本大会特別規則を参照に実施します。
- 2) 審判員〔競技委員〕の氏名は、公式プログラムもしくは公式通知で示されます。

第4章 抗議、暴力等に関する事項

第32条 抗議

- 1) 「JAF国内カート競技規則」第13章に基づき、抗議は書面にて抗議料を添付の上、エントラントより競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとします。
 - (1) 技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は車両検査後15分以内とします。
 - (2) 競技中の過失または反則に対する抗議はその競技終了後30分以内とします。
 - (3) 競技の成績に関する抗議はその発表後30分以内とします。
- 2) 大会運営役員に対する各抗議はエントラントのみ受け付けるものとし、抗議料は、現金22,000円とします。（JAF国内カート競技規則・付則、カート競技に関する申請・登録等手数料規定に関する第8条に基づく）提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等の要した費用ならびに組み立て費用は被抗議者であるエントラントおよびドライバーの負担とし、これと反対に、当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は、抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられます。

- 3) エントラント及びドライバーの遵守事項
 - (1) エントラントは自己の係る全ての者にすべての法規及び規則を遵守させる責任を有します。
 - (2) エントラント、ドライバー及びピットクルーは本特別規則の下で開催される競技会中に生じた事態についてコースの所有者、主催者とその関係者及び大会役員に対していかなる責任も追及できません。
- 4) エントラント、ドライバー及びピットクルーは、競技委員やレースジャッジに対し、スポーツマンらしくらぬ行為や不謹慎な言葉遣い、暴言、威圧、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とします。※施設退去の場合もあります
- 5) エントラント、ドライバー及びピットクルーによる、競技会場での言葉による脅しや侮辱、威圧、暴力行為をした場合、主催者の判断により当該競技会失格、当施設からの退場、次戦のエントリー拒否等のペナルティを与えることができます。主に、選手に対しての暴力（特に子供へ）選手間同士の暴力は目に余る物がありますので人道的な対応を心よりお願いいたします。
- 6) 主催者や大会審査委員、選手間に対して、SNS等で誹謗中傷、侮辱をした場合、競技会の参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合があります。
- 7) 規則の解釈、本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものといたします。

第5章 カートに関する事項

第33条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録関連

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、次の個数が登録できます。

注) 2013年より、SLクラス(KT)は登録エンジン1基となっています

対象クラス	シャシー	エンジン	タイヤ
YAMAHA Cadets OPEN	1台	1基	ドライ 1セット ウェット 1セット
T I Aジュニア、S Sジュニア			
YAMAHA SS			
YAMAHA Super SS			

【SLクラスのエンジン交換に関して】

- 登録したエンジンが破損によって交換をする場合、技術委員確認立ち合いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別なエンジンに1回のみ登録を変更することが可能です。
- タイムトライアル、予選後にエンジン交換が生じた場合、技術委員確認立ち合いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別なエンジンに1大会1回のみ登録を変更することが可能です。
この場合、次のヒートのグリッドは最後尾（または最後列）スタートとなります。
- エンジン交換によって、最後尾（または最後列）スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのスタートは、エンジン交換申請書提出順にグリッドを決定します。

第34条 エンジン検査とエンジン交換規定

- 登録済のエンジンを差し換える事務手数料は、3,000円とします。
料金を事務局に支払い、エンジン登録の変更手続き書類を車検と事務局に提出してください。
- エンジンの変更（交換）申請は、出走開始の20分前までとします。
- エンジン検査対象となるドライバーが、交換したエンジンでレースを終了した場合、交換済の登録エンジン、使用部品すべてが車検対象となります

第35条 タイヤに関する事項

- 参加者は事前にレース登録タイヤ（ドライタイヤ・ウエットタイヤ）の両側面にゼッケンを記入して下さい。（文字色は主催者が決定し事前に告知します）
- 不慮のトラブル（バースト、その他のタイヤへの損傷）の場合、技術委員長承認のもとに1本のみ交換が認められます。差し替えのタイヤは中古同等品とします。
- 指定コンパウンドの登録タイヤを公式練習から使用義務とします。
- タイムトライアル時にタイヤの製造不具合によって不良が発生した場合、技術委員長の判断によって新品タイヤへの交換を行える場合があります。
- レース当日の路面コンディションが微妙で、ドライかウエットタイヤを使用するか判断に迷う場合、その判断をエントラント及びドライバーに任せる場合があります。また間違いなくウエットタイヤを使用する路面コンディションの場合は、イコールコンディションと安全を考慮してタイヤコントロールする場合があります。タイヤコントロールする場合は、イベントプロモーター、審査委員会、競技長、協議の上、公式通知または、告知にてご案内いたします。
- 使用できるウエットタイヤは1セットとします。
ただし、路面コンディションの著しい変化によって、使用していたウエットタイヤの性能が安全を確保できない場合、大会審査委員会が判断し全員がもう1セット使用できることがあります。ただし、交換は当該ドライバーの任意とします。

7) 指定コンパウンドの登録タイヤへの溶剤塗布、加工、表面を工具などによる削る行為などは禁止されます。その行為が発覚した場合、当該レースから除外されます。

8) レース中、器具や暖房機によってレース登録タイヤを故意に温めることは禁止されます。発覚した場合には、ペナルティが課せられます。
ペナルティの内容は、2023 ペナルティカタログを参照してください。

第36条 燃料の指定と検査『指定ガソリンスタンド制を採用します』

「JAF国内カート競技車両規則」第2章 第25条 に準じ、ガソリンスタンド計量器から販売されている『一般市販の無鉛ハイオクガソリン』を使用しなければなりません。

《指定ガソリンスタンド》

株式会社西日本宇佐美 IB 19 号瑞浪 SS (ENEOS) ガソリンスタンド
〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町清水 1243 MAP QR コード
TEL 0572-68-6151
営業時間 月曜～金曜 7:00～21:00 / 土日祝 7:00～20:00



『車検でのガソリン検査について』

車検長の任意により、各ヒート後に使用した燃料（ガソリンや混合オイル含む）の成分検査を行います。※検査はランダムに実施します

- (1) サンプルガソリンと明らかに色が異なる場合→車検長判断により当該ヒート失格
- (2) サンプルガソリンと色は同じだが、判定数値が異なる場合
上記、(1)、(2) いずれも、次ヒートより主催者が用意したガソリンとオイルを使い走行となります。



参考例) 混合ガソリンの色違い

左側 . . . サンプルガソリン

右側 . . . 指定外ガソリン

注) 主催者が用意したガソリンを使用する場合
車検場へポリミックスを持参し、車検スタッフ立ち合いの元、ガソリンとオイルを受け取りその場で混合したガソリンを使用して下さい。使用したガソリンとオイルの代金は、後日、所属チームを通してご請求させていただきます。
※指定ガソリンの購入は、レースウィーク中のご用意を推奨いたします。

※本大会特別規則書の一部が変更になる場合は、公式通知でお知らせします

第37条 使用オイル

今大会では、使用するエンジンオイルを下記のものに限定いたします。

X e r a m i c C A S T O R E V O 2 T



車両規定表

	Cadets OPEN	T I Aジュニア	S Sジュニア	YAMAHA S S	Super S S
シャシー	SL 規定に準拠します。 ※シャシー登録1基				
エンジン	K T 100 S E C ヤマハ純正エンジンで、改造禁止とします ※詳細は2023年 SL 規定に準拠します。				
キャブレター	SL 規定に準ずる Φ14.5mm テーパージョイント装着	SL 規定に準ずる Φ19.8mm テーパージョイント装着	SL 規定に準ずる フルボロ WB3 A、WB 2 1、WB 3 3 改造、部品変更禁止 26Φmm 品番指定ジョイント (787-13586-01・黒色) を装着		
エンジン登録数	1基 ※第34条参照				
ドライ タイヤ	DL SL J	DL SL-FD		DL SL-22	
ウエット タイヤ	DL SL-W2	DL SL-W2		DL SL-W2	
最低重量	110Kg	130Kg	135Kg	145Kg	150Kg
参加年齢	当該年度小学2年生以上	小学4年生～中学生		当該年度小学6年生以上	当該年30歳以上
	※1 JAF 国内カート競技車両規則に合致する第1種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限ります。(改造や加工は一切禁止) ※2 記載なき車両事項は、2023年 SL カートミーティング車両規則書に準拠します。 ※3 入賞したカート、エンジンは予備の順位分を含め再検査対象となり、オープン検査を関係者立ち合い元、実施いたします。				